

報 告 書

(三 浦 班)

開 催 日 時	令和元年 5 月 16 日 (木) 午後 7 時～8 時 30 分	
開 催 場 所	国府公民館	
出 席 議 員	田畑 敬二 副議長、佐々木 豊治、布施 賢司、上野 茂、 小川 稔宏、川上 幾雄、三浦 大紀	
	司会者	三浦 大紀
	予算報告者	小川 稔宏
	ファシリテーター	布施 賢司、川上 幾雄
	記録者	佐々木 豊治、上野 茂
参 加 人 数	23 人	
主な要望・提言等	<p>テーマ 1 (地域資源の活用 (環境整備、観光振興など))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊ヶ浦の一連の整備をしてほしい。資料館や駐車場なども。人が多いときは本来のガイドができていない。バスが入れない。住んでいる人たちにももっと知ってほしい。 ・ 赤瓦の町並みを見直すべき。豊ヶ浦は夕日のスポット。マリンスポーツのカヤックやサップ (SUP)、サーフィン、魚釣りや貝取りを子どもたちとしたらどうか。サザエやはまぐりなどを焼いて食べる小屋もどうか。 ・ 以前は海水浴で有名だった国府海岸。海浜公園、豊ヶ浦は日本一。アクアス、国分寺、ゴルフ場、スケートリンクなど町レベルでこれだけの施設があるところはない。観光遊覧船をしたい。高島から温泉津、琴が浜まで遊覧する許可をとっている。後継者もいる。 ・ 下府川の出口の草が生えて活用できずにもったいない。 ・ いかめしや魚を焼いたりしてにおいを演出すると効果的。 ・ 盆踊りを浜田で一緒にやってみてはどうか。広いところで浜田音頭をするなど。 ・ 下府川から見る夕日が良い。四季によってスポットが違う。 ・ 親は遊べても子どもが遊ぶところがない。親も子供に魚釣りなど遊びを教えてほしい。 ・ 国府小学校に海洋教育で 30 万円の予算がついた。活用方法に先生も苦慮している。 	

主な要望・提言等

- ・観光は体験を提供しないと難しい。
※美又も泉質がいいだけでは人が来ない。
- ・海を使った体験→現在は体験メニューない。
- ・キッズサーフィンスクールは無料なので反響多い。
(100人くらいの参加あり)。
- ・最近の人たち(特に子どもが)が海にあまり入らないのはもったいない。
- ・親子体験などは効果的ではないか。※サップ体験など。
- ・400年イベントのメガサップレースはとてもよい。
※自分たちが出たいと思うメニューづくりを。
- ・国府の夕日の景観は宝。活用を。
- ・海岸をきれいに使うことが大事。
- ・県の管理地だが、市が管理している現状。キャンプ場を整備してほしいが、使用制限があるので使いづらい。花火やゴミの問題あるのが原因というのは理解。
- ・BBQセットを提供するなど、経済効果を高める努力も必要か。
※セットを提供してのBBQ実施はOKをもらっている。
- ・千畳苑前の道路整備が必要(ガタガタする)。
- ・公共交通で来る人もいるので、駅や9号線からの巡回バスなどあってもよいのでは。
- ・下府川のトイレのタイルが落ちたままになっているので修繕が急務。
- ・シェアカーなど、移動手段のバリエーションも検討すべき。
- ・千畳苑の自転車を学生などがコンビニに行くのに利用している。
- ・子ども用の自転車があってもよいのではないか。
- ・久代地区とのつながりが大事。
- ・利用促進のためのプロモーションが必要。
- ・広浜鉄道の活用ができていない。
- ・山城跡もある。のろしりレーなどしてみてもどうか。
- ・ぶどう畑の再生も地域資源の掘り起こし。
- ・ゴミ拾いを教育コンテンツとして活用(行事を一緒にやるのが大事)。
- ・公園が少ない(大きい遊具が海浜公園からもなくなった)ので、遊ぶところが少ない。

<p>主な要望・提言等</p>	<p>テーマ2（求められる子育て支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育現場、校長が変わるとすべて変わる。教育に対する指針を持った方を配属して、質を上げてほしい。 ・先生は頑張っているが、親と教育現場が離れていた。 ・放課後子どもの遊ぶところが少ない、遊具がない。 ・上府など暗い中歩いて帰ると心配。歩道がなく危険。 ・高齢者の見守りをしているが、落石があるようなところでも決まった道しか通れない。 ・集まりに子どもは行くが親も行きやすいように若い親の意見交換の場がほしい ・遊び場が少ない遊具が撤去されている。自由に遊べる公園がほしい。 ・旧国中で遊んでいるとだめといわれる。市は把握しているのか。 ・児童クラブ以外に子どもの寄る所がほしい。 ・お年寄りと気軽に話ができるところがほしい。 ・高校生まで医療費補助してほしい。 ・子育て世代を終えた方の人材活用に力を入れるべき。 ・出産など支援金等はあるが使い道のマッチング。 ・学校・家庭・地域連携とは言っても上の人に現場の声が届いていない。 ・若い方の子育ての意見交換の場がほしい。 ・地域の方の顔がもっと分かるようになったらいい。 ・子どもとの交流がもっと多くできるようにしてほしい。 ・安心して遊べるところがほしい。 ・子どもと地域の方との交流がもっとあった方がいい。 ・公園不足、行政は現場の把握をしているのか。
-----------------	---

<p>主な要望・提言等</p>	<p>【その他要望・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老入浴券はどれだけの利用があるのか。車のない人はどうやっていくのか。この1年強で利用した人は少ないと思う。食事券などでもいいのではないか。 ・介護サービスを使っていない人すべて入浴が好評だとは限らない。おしゃべりできる場所が必要。 ・日交タクシー前の踏切から上の方へ家が増えた。道を整備し最低でも所々すれ違うことの場所を確保してほしい。 ・「しまねお魚センター」浜田漁港周辺の活性化に伴う移転について、現在お魚センターのテナントに入っている業者の移転費用や1年半の休業に伴う費用の負担等保証はあるのか。移転先を業者に任せたまま休業する場合、業者の負担が大きいのではないか。 ・放課後児童クラブの実態について、全学年が対象となったが、その後の実態や支援員の方々の様子等を直接視察に行くことはあるのか。 ・市内のハローワークへの道が狭いので改善してほしい。これまでも要望してきたが変わっていない。市が受け付けない。
-----------------	---

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

令和元年5月23日

浜田市議会報告会規程第9条第1項の規定により提出します。

三浦 班

代表者 三 浦 大 紀